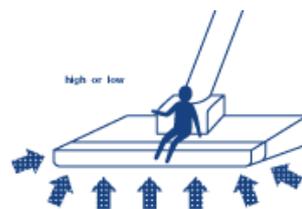




Question

掃除機には「自動」「強」「弱」などの吸い込みモードがあるけど、ゴミの取れ方や消費電力量に違いがあるの？

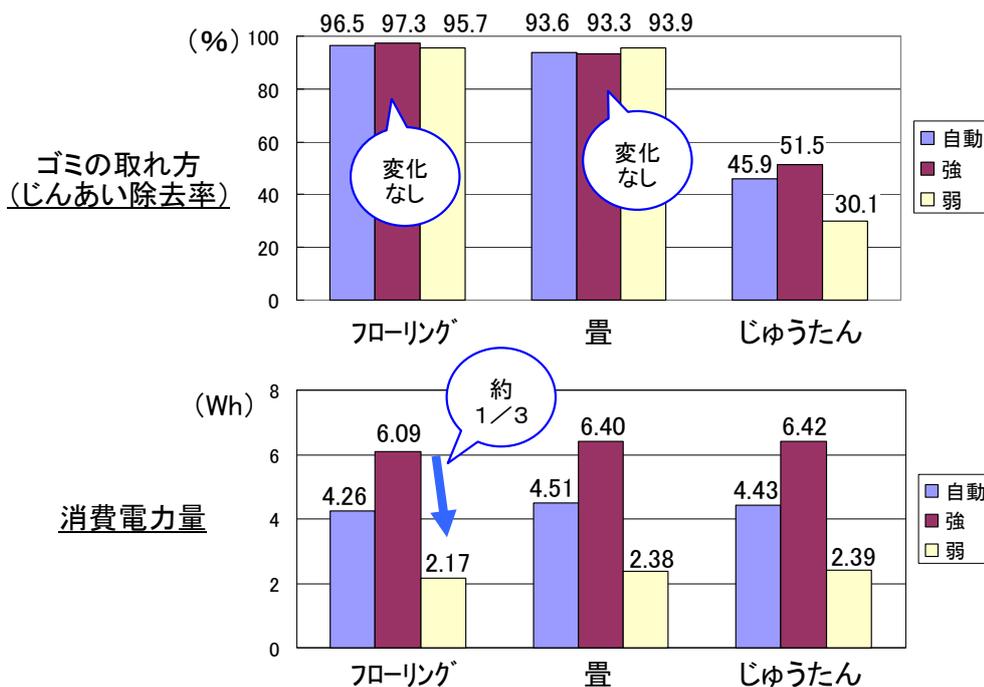


Answer

ゴミの取れ方は床材により異なりますが、フローリングや畳では吸い込みモードを変えてもほとんど違いがありません。消費電力量は、「弱」で掃除すると、「強」の約1/3、「自動」の約1/2ですみます。



■ 吸い込みモードの違いによるゴミの取れ方と消費電力量の差について調べてみました。



じゅうたんには「強」、フローリングや畳には「弱」と、吸い込みモードを使い分けることをおすすめします。フローリングや畳の掃除に「弱」モードを使用すると、「強」と同じくらいゴミを取ることができて、省エネです。

【試験期間】2011年1月～3月

【実施箇所】東京電力 営業部

【試験機種】東芝ホームアプライアンス(株) HAVC-CG510X(サイクロン式)

【試験条件】・掃除機の運転モードは、自動モード(「エコモード」)、強モード、弱モードとし、いずれも回転ブラシを稼働

・試験用じんあいは、JISG5901に規定される鋳型用珪砂65号17.5g+鋳型用掲載200号17.5g(合計35g)を使用

・試験用床[フローリング:松材(厚さ15mm)、畳:稲わら構造、じゅうたん:ナイロン100%/パイル長7mm(タフテッドカット)700×1000mm]上に、試験用じんあい35gを均一になるようにふるいにて散布(じゅうたんの場合は、じんあい散布後ローラーで埋め込みを実施)

・掃除機のヘッド部を一往復させる方法で、前進+後退+横移動=約4.5秒間(1サイクル)を6サイクル実施し、試験領域に散布されたじんあいを掃除機にて除去。ヘッド部の移動速度は前進・後退いずれも約0.5m/s

・じんあい除去率、消費電力量は有効な試験3回の測定値平均を算出 ・じんあい除去率[%]={(D1-D0)/35}×100 D0:清掃した集じん容器の質量、D1:掃除機をかけた後の集じん容器の質量

※本資料の結果は、上記の条件で実施した時の結果です。他の試験では結果が異なる場合があります。